

施策体系

基本方針	6	産業の健幸	施策名	25	企業誘致の促進と働く場の確保
------	---	-------	-----	----	----------------

施策統括部	産業振興部	関係課	企画課、生涯学習課、商工振興課、水道課
施策主管課	商工振興課		

1 施策の評価指標

成果指標		単位
A	新規企業立地数(年間)	件
B	クリエイター塾生のクリエイターとしての就業・創業者数	人
C		
D		

2 指標等の推移

成果指標	R4年度実績値	数値区分	6年度	7年度	8年度	9年度	評価	背景として考えられること
A 件	1	目標値	1	1	1	1	○	半導体受託生産最大手のTSMC(JASM)の創業や令和7年3月に熊本県が策定した「くまもとサイエンスパーク推進ビジョン」によりセミコンテックパーク及び菊池地域周辺一帯における産業集積が一段と進む見込みです。
		実績値	1					
B 人	6	目標値	7	7	8	8	○	「市民クリエイター育成」を目的とした「クリエイター塾」を受講し、映像制作技術を学んだ市民が年々増加している。その内、商工振興課が市商工会と実施している創業支援事業を活用し、自身の就業・創業に繋げるクリエイター塾卒業生も年々増加しています。
		実績値	7					
C		目標値						
		実績値						
D		目標値						
		実績値						

※【評価】 ○; 目標達成 △; 目標をほぼ達成(-5%) ×; 目標を未達成

事務事業数・コスト			6年度	7年度	8年度	9年度
事務事業数		本数	15			
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0		
		都道府県支出金	千円	492		
		地方債	千円	891,600		
		繰入金	千円	14,010		
		その他	千円	42,767		
	一般財源	千円	67,073			
事業費計		千円	1,015,942			

3 施策の現状・住民意見等

①施策の現状（第1期基本計画策定当初）と今後の状況変化

- 市営東部工業団地は、令和7年度内の造成完了及び分譲公募に向けて取り組みます。
- 県営工業団地整備計画は、令和4年5月に熊本県が合志市と菊池市の2カ所を選定。本市における整備については「検討中」としており、市としては整備に向けて引き続き熊本県に要請します。
- 熊本県が令和7年3月に「くまもとサイエンスパーク推進ビジョン」を策定。このビジョンでは、半導体産業を中心に、AIや自動運転などの先端分野の企業や研究機関を集積し、産学官連携によるイノベーション創出を目指すとしており、その中心となる「イノベーション創発エリア」をセミコンテックパーク周辺に整備します。また、令和7年度中に熊本県のパートナーシップ企業を県を選定し整備を推進する予定です。

②この施策に対して住民（対象者、納税者、関係者）、議会からどんな意見や要望が寄せられているか？

(令和6年度(令和5年度振り返り)の施策評価における議会意見)

- 誘致企業の受け皿となる工業団地の整備を国県と連携し、推進すること。
- 安定して働ける環境を整えることにつとめること。
- 半導体産業の集積を機に企業誘致に取り組むこと。

(令和6年度(令和5年度振り返り)の施策評価における総合政策審議会意見)

- 地元雇用につながる企業誘致をすること。
- 企業誘致をするにあたって農地を守るよう努めること。
- 産業共生につながる企業誘致をすること。

4 施策の評価

①施策の振り返り（経営方針の達成度等）

令和6年度経営方針からの振り返りは以下のとおりです。

①【北熊本SIC等による交通利便性など本市の強みを活かして積極的な企業誘致を推進するとともに、中九州横断道路の進展を見据え(仮称)東部工業団地の整備に取り組みます。併せて、農産業との均衡を保ちながら、国・県と連携して民間産業の進出を支援します。】については、新たな企業誘致の受け皿整備のため、東部工業団地の開発許可及び農地転用許可を取得し、造成工事及び調整池設置工事に着手しました。また、官民連携の開発にかかる企業進出については、「市半導体産業等競争力強化推進本部関連企業支援部会」を中心として、企業誘致に向けた環境整備など全庁横断的に取り組みました。

②【引き続き、ハローワーク、ポリテクセンター、熊本高専等との連携や菊池地域企業誘致プロジェクト協議会による広域の企業紹介等により多様な働き方を推進し、併せて女性・シニアの就労支援、企業誘致による雇用促進と労働環境の整備に努めます。】については、熊本県や産業雇用安定センターと連携した就職相談会や個別相談の実施、菊池地域企業誘致プロジェクト協議会における関係機関の情報共有及びビジネスセミナーの開催、女性起業家によるトークショーやワークショップの創業セミナーを行い、女性の創業を支援しました。

②施策の課題（令和6年度の施策の振り返りから見る課題）

- 企業立地（工場等の集積）が市農業存続・発展に負の影響を及ぼすことなく、両産業が共生・発展し続け、多様な産業が共生することによる、地域産業全体の浮揚を目指す必要があります。特に、企業集積により外国人を含む人口増加が今後も見込まれており、また中九州横断道路整備等により域外からのアクセス向上も期待されていることから、本市の弱みである商業・観光業の強化を図り、外貨稼ぎ・域内消費を高めていくことも必要です。
- 企業の立地状況、人口の増加等に見合った、道路整備や上下水道などの各種インフラ整備が必要です。
- 地元雇用や県外人材の確保・域内での人材育成など人手不足への支援を強化する必要があります。

5 施策の令和6年度結果に対する審査結果

①政策推進本部での指摘事項（施策目標達成度評価結果報告を受けて令和7年7月23日）

- 「市半導体産業等競争力強化推進本部関連企業支援部会」を中心に、セミコンテックパーク周辺など企業の立地に伴う道路整備や上下水道などの環境整備に全庁横断的に取り組むこと。
- 地元雇用に関わる情報の収集や提供等のPR活動に取り組み、多様な働き方を推進するとともに、女性・シニアを含め、就労希望者の支援を図ること。

②総合政策審議会での指摘事項（令和7年7月31日、8月6日のまとめ）

- 農家と加工業者のマッチングにより雇用の創出を図ること。
- 農地の保全と企業誘致の調和を図ること。

③議会の行政評価における指摘事項（令和7年9月1日）

- 「くまもとサイエンスパーク推進ビジョン」により見込まれる更なる半導体関連会社の誘致に取り組むとともに、県営工業団地の整備を早期に決定するよう県に強く働きかけること。
- 県サイエンスパークの誘致及びパークマネジメント法人が本市で法人登記するよう働きかけること。
- 産業分野や職種の偏りによって生じるリスクヘッジについて検討すること。

6 次年度に向けた取り組み方針

○政策推進本部 令和8年度合志市経営方針（令和7年10月日）

- ①くまもとサイエンスパーク及び半導体関連産業等の企業誘致を推進します。
- ②セミコンテックパーク周辺など企業の集積に伴う道路整備や上下水道などのインフラ整備に全庁横断的に取り組みます。
- ③地元雇用に関わる情報の収集に取り組み、就労希望者の支援に努めます。